

ROTARY CLUB OF OMIYA WEST



2023-24 年度 大宮西ロータリークラブ 週報



世界に希望を生み出そう



創 立:1963年 3月 22日

例会場:パレスホテル大宮

例会日:月曜日12:30~13:30

会 長 藤嶋 剛史

幹 事 横溝 一樹

クラブ会報委員会 竹ノ谷純宏

第2823例会 2024/06/10

発行日 2024/06/17

会長挨拶

会長 藤嶋 剛史

冒頭に黙祷を行いました
が、残念ながら吉田咲
治会員が6月4日に逝去
されました。皆様も同じ
だと思いますが、突然の
事で本当に驚いていま
す。吉田会員といえはユ
ーモアあふれる語り口が
皆さんの記憶に残ってい
ると思いますが、会長を
されたときにR Iから表
彰を受けたラオス難民の方々への人道支援事業「ラ
オス村」の村長としての活躍をはじめとする様々な
功績を、そして吉田浩士君という素晴らしい後継者
を残された方でした。心よりご冥福を祈念いたしま
す。

さて、本日は地区役員の皆様の出向報告ですが、
私も過去6年間出向をしておりました。10年のうち
6年ですから、ずっと出向ばかりしていたといっ
ても過言ではありません。ただ、最初は先輩に言わ
れるがまま出向して、地区から色々と情報を持ち帰
ってクラブにフィードバックするのが役割などと思
っていたのですが、最後はそんなことは忘れてただ
楽しいので出向しておりました。とはいえ、色々なク
ラブの方と交流して多くの情報を得られますし、ロ
ータリーの専門分野に明るくもなり、役に立つこと
ばかりではないかと思ひます。最近新しい会員の
方も増えましたので、今回の報告を通じて理解を深
めていただき、それが皆様の地区出向への意欲とク
ラブの活性化につながれば幸いです。



ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

藤池 誠治 会員



お客様紹介、米山記念奨学生紹介

■2024 学年度米山記念奨学生
金 亮希さん

(ご紹介: 副会長
染谷 義一)



幹事報告

幹事 横溝 一樹

1. 先週6月4日に急逝され
た故吉田咲治会員のご葬儀
が青葉メモリアルホールに
て13日に執り行われます。
また、予定しておりました
「傘寿の会」につきまして
は開催を見送る運びとな
りました。関係の皆様にはご
理解を賜りたく存じます。

2. 部会補助金の申請の受付を本日までとさせて
いただきます。今年度活動のあった部会で部会
費を請求される際はお申込みください。なお、
野球部会所属の場合は、甲子園出場援助金の関
係上、全員分野球部会の方に支給いたします。
3. 次週6月17日の例会はパレスホテル大宮では
なく、大宮ソニックシティ4階市民ホールにて行
います。例会内容は今年度委員会報告となっ
ておりますので理事、委員長の皆様はよろしくお
願いいたします。また、本日発表の地区派遣役
員の皆様は後ほど週報用の原稿を事務局までお
送りいただけますようお願いいたします。



把手共行 ~分かち合おう、共にロータリーの感動を~

事務局:さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



委員長報告、派遣役員報告

■親睦委員会 委員長 川井 理砂子
最終夜間例会の出欠をお知らせください。また、会費のお支払いも事前をお願いいたします。

■藤池 誠治会員
吉田暎治会員のご冥福をお祈りいたします。皆さんも驚かれたことと思います。火曜に、お亡くなりになったと浩士くんからご連絡をいただきました。吉田暎治会員が会長の時に幹事を務めました。彼は融通が利かないくらい、物事をきちんとする性格でした。そして多くの功績を残しました。今日はじっくりと思い出していたきたいと思います。



出席報告

■出席委員会 委員長
新城 盛幸



スマイル報告

■臨時副SAA
菊池 裕一



本日のSAA・副SAA



地区役員派遣報告

■規定審議会検討委員会
川井 理砂子

昨年度から、地区の「規定審議会」に出向しています。初めての出向ですが、特典としてもちろん地区ネクタイ・スカーフがいただけます。他のクラブの会員さんと交流できる貴重な機会となっていますので、機会がありましたら是非。

「規定審議会」の任務は、一言で言うと議員秘書です。国際ロータリーでは、年に一度の決議審議会、三年に一度の規定審議会を開催し、各地区から出された規定の改革案を、地区の代表議員による投票で審議します。

過去に採択された改革案として有名なものが、2016年規定審議会で採択された「クラブ運営の柔軟性」です。①例会は、月に最低2回以上行えばよい、②奉仕プロジェクトや社交行事を「例会」とみなし

ても良い、③方法として、直接、オンライン、それらの併用のいずれかを選ぶことができる、④出席要件を満たさなかった会員の終結に関する方針を緩めることができる、というものです。

逆に、毎年、否決されている法案も紹介します。ロータリー財団章典には「管理委員会は、ポリオ根絶が認定されるまで、いかなる将来の世界的な目標を採択することも時期尚早であり、ポリオ根絶活動の妨げになると確信している。」という一節があります。これに対し、コロナのような他の優先課題が現れる可能性は高いとして、ポリオを優先課題とすることは認めつつも、表現を若干緩める方向で改定案が提出されましたが（大阪中之島RC）、こちらは否決されています。

最近、我々の地区のガバナーが、RIから勧告を受け任期半ばで辞任したというショッキングな事件があり、良くも悪くも、RI（国際ロータリー）の取り決めと無縁ではいけないということを痛感しています。また機会がありましたら、RIの規定や規定審議会の状況についてご報告させていただきたいと思っています。

■社会奉仕部門
地域社会奉仕・ブライダル委員会
新井 清太・岡部 勉



今年度は昨年までの社会奉仕委員会とブライダル委員会と一緒に社会奉仕ブライダル委員会として、社会奉仕とブライダル事業を行いました。推奨活動は、ピンクリボン運動、街頭募金、腎アイバンク啓蒙、ペットボトルキャップ回収、子宮頸がんワクチン啓蒙、などです。

主な成果として、ウクライナ支援街頭募金、能登半島地震支援募金は地域の子供たちの参加により多大な金額を集めることが出来ました。9月にはロータリーフェスタ絆まつりの設置、運営し各クラブより大勢のお祭り好きの方々にお越し頂き鐘塚公園は大いに賑わいました。11月の地区大会にてピンクリボン啓蒙の為、参加者へビラの配布を実施しました。

ブライダル事業は昨年12月にクリスマスブライダルパーティーをステラ・デル・アンジェロにて開催、男女あわせて20名の参加で5組のカップル誕生と好成績を残しました。昨年のブライダル委員長は当クラブの藤嶋会長でした。藤嶋会長が昨年度にブライダル事業のテコ入れをしてよい形に引き継がれたのが良かったのではと思います。募金に関しては小学生が参加すると一気に募金額が増えるという結果もあり、おじさんだけでやるより、女性と子供と一緒にやるほうが良いと思います。以上社会奉仕ブライダル委員会からの報告でした。

■国際奉仕部門
国際交流委員会 副委員長 島村 まり子
国際交流委員会 松本 有祐

活動内容：

- ・例会の出席（'23 7/4 8/ 9/12 10/10 11/7 12/1 '24 1/16 2/15 3/26 4/17 5/7 6/19）
- ・第3750地区（韓国）迎え入れ旅行（島村：'23 11/11-13）
- ・韓国訪問・第3750地区 交流訪問（島村・松本：'24 4/29-5/1）

国際奉仕部門のミッション：

- ・海外奉仕・交流案件の現地要望情報の収集と整理、各クラブへの案件広報
- ・各クラブの国際奉仕活動フォロー
- ・韓国・第3750地区との交流

考察：

- ・毎月、プロジェクトの進捗報告、情報交換を実施。部門メンバー同士の親交を深めることで情報の収集がスムーズになった。
- ・国際奉仕部門のミッションは主に各クラブへの国際奉仕・交流を促し、フォローすることにある。
- ・その意味で、自クラブや他クラブへのPR、フォローが十分ではなかったかもしれない。
- ・また、韓国・第3750地区との交流は20年以上も前の先輩諸氏が築き上げた伝統で、2770地区を代表して国際奉仕部門中心に交流している。
- ・内容としては、お互いの地区大会のタイミングで訪問し、懇親を深める懇親会や旅行を実施している。
- ・松本も初めて韓国に伺い、おもてなしや、韓国の文化(食)に感動し、韓国を好きになる体験をした。
- ・韓国にも、日本を好きになるロータリアンが一人でも増えるよう、日本側でも対応していきたい。

■青少年奉仕部門 青少年交換委員会

川鍋 洋子

交換留学生のお世話は、夫がロータリー会員であったころから 茶道を通してお手伝いさせていただきまして、その活動の素晴らしさは存じていました。本年度、実際にこの活動に携わらせていただき、ロータリー活動の目指すものがはっきりとしてきました。感謝しております。

一年生委員は、会議の議事録作成をします。10日以内にまとめてメールするので、時間に追われますが、活動内容を具体的に知る事ができました。また、派遣候補生選出では、いきなり英語問題作り、英語の面接試験を務めさせていただきました。責任重大な事を任された事によって、委員会での自分の居場所が見つかり始め、やりがいを感じる事ができました。

次に委員会は、選出された学生達に対して10回のオリエンテーションを行います。派遣候補生は、留学経験者ローテックスの素晴らしいリーダーシップと面倒見の良さで、一年かけて派遣までに必要な情報を得ながら、来日学生と英語で会話し、自覚を深めていきます。留学準備の好循環が生まれています。また、青少年交換委員会は、来日学生に対して、合宿、日本語教室、北本キャンプ、東京スカイツリー日帰り旅行、京都・広島旅行、白馬スキー合宿と様々な活動を通して、充実した日本での生活ができる様、全力で取り組んでいます。また、各国に派遣した学生達に対して YESS を通じて、彼らの安全を昼夜問わず見守っています。今ご紹介した青少年交換委員会の仕事はまだ一部です。夢を語る若者たち学生たちの瞳は希望に輝いており、彼らの夢の実現のため、力を貸してあげる事は、私達にとって大きな喜びとなっています。

最後にご報告します。先週6月6日(木)に、派遣生と来日学生は埼玉県知事公舎を訪れ、大野知事から親善大使の委嘱書をいただきました。出発を目前にし、親善大使として新たな自覚が持てたようです。



■米山記念奨学部門 米山記念奨学増進委員会

副委員長 増永 裕樹

米山奨学生は米山梅吉記念館などへの年2回のバス旅行、感謝の集い、部門セミナーのほか、当クラブの鐘塚公園でのイベントなど各クラブによる事業へ参加しております。我々委員はその手伝いです。そのほか奨学生の重要な任務と言え、各クラブでの卓話。委員も同行して少々お話しする機会があるのですが、その時に質問をされることがあります。



イベントがあるたびに出る質問は何かといいますと。①自動車を保有しているような裕福な奨学生を支援する必要があるのか ②特定の国の奨学生が非常に多く、それも日本と政治的に対立している国の若者を支援する必要があるのか、の2点です。それを聞くと、米山事業はまだ浸透していないのだと痛感します。

おそらく質問の根底にあるのは米山事業に対する誤解なのでしょう。当事業は貧しい学生に対する「施し」ではありません。その目的は日本と世界をつなぐ架け橋を作ること。日本の慣習を学び、我々の思考回路を理解する。そんな貴重な仲間を育てるのが事業の目的で、いわば日本の未来に対する「投資」なのです。

国際理解、親善、平和を推進すること。ロータリーの目的が掲げる世界の実現は簡単ではありません。外交の世界では限られた富を得るために厳しい交渉を重ねます。その時に我々の主張を理解する人物が相手国にいたらどうでしょう。我々の意図を相手に「翻訳」する存在がいたら、無駄な争いを避けるための心強い存在になるはず。対立の芽があるからこそ架け橋が必要なのです。

その未来の架け橋であるリャンちゃんとは是非話してください。史跡に連れて行く。伝統芸能を見せる。それも良いかもしれませんが、しかし、最も重要なのは我々の考えを伝え、理解してもらい、逆にリャンちゃんを知ることです。

いま一つお願いがあります。リャンちゃんの次を担う優秀な奨学生を得るための一手です。米山事業に関われるのは全てのクラブではありません。奨学生の数は限られており、残念ながら全クラブに割り当てては出来ません。その可否を分けるのは寄付金です。大宮西ロータリークラブの次年度米山委員長である内藤さんを助けることにもなります。勝負は年末までとなります。皆様のご助力をお願いいたします。

■管理運営部門 クラブ活性化委員会 風岡 淳一

クラブ活性化委員会は DEI を積極的に取り入れることの推奨、戦略計画作成・行動計画の策定、MY Rotary 登録率向上と利用促進、ロータリー賞へのチャレンジに関して、卓話を希望するクラブに卓話を行ってまいりましたが、卓話を希望するクラブが少なかったことは否めず、実際の主な活動は同じ管理運営部門の RLI 運営委員会とともに RLI の運営を行うことでした。RLI とはロータリー・リーダーシップ研究会の略で、6つのセッションについてグループでディスカッションを行いながらロータリーの基本について学んでいくというもので、パートⅠ、パートⅡ、パートⅢの3回受講により修了となります。受講の順番は問わず、また3回を複数年にまたがって受講することも可能です。本年度は10月22日に RLI パートⅠ、12月16日に RLI パートⅡ、1月27日に RLI パートⅢが行われました。また、パートⅢ終了後には懇親会も開催されました。ディスカッ